

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	音 楽			
教 科	芸術科	時間数	1.3時間	学年・コース
使用教科書	中学生の音楽1、中学生の器楽(教育芸術社)			
副教材等				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

表現(歌唱・器楽)及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	1. 歌唱 校歌指導 「エーデルワイス」		10月	「赤とんぼ」(山田耕筰) 合唱コンクールの練習	
5月	「浜辺の歌」(成田為三) 2. 器楽(ウクレレ) 基礎的な知識と 初歩的な演奏法		11月	3. 鑑賞 「春」(ヴィヴァルディ)	合唱に対する 取り組み
6月	「ちょうちょ」 「チューリップ」 「タフアファイ」		12月	「アジアの諸民族の音楽」	第2学期期末考査
7月	3. 鑑賞 「魔王」(シューベルト)	第1学期期末考査	1月	4. 日本の民謡 全国の民謡等 5. 器楽(ウクレレ) 「オーラリー」等	
8月			2月	6. 鑑賞 箏曲「六段の調べ」 尺八曲「巢鶴鈴慕」	
9月	4. 楽典「音楽記号」 1. 歌唱 合唱コンクールの練習 「朝の風に」		3月	「日本の民謡」	第3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [曲想とリズムや拍との関わりについて気付いている]
 ② 思考・判断・表現 [リズムや拍を聴き取り、感じ取ったことの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いて]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します